

「先生、きのう大川で遊んだよ。
 子どもたちも、土地の人も
 矢作川といわずに
 「大川」「大川」と呼んで
 母なる川に親しむ

はだしになると
 子どもは
 心はだかになるのか
 しゃべりまくり
 はしやぎまわり
 足のうらの感触が
 野性呼びさしますのだ

昭和53年 7月 1日 / 編集・発行 / 岡崎市教育委員会



(矢作川での砂遊び—岩津小)



OECDと教育の国際化について

説 間 晋 平

OECDは、通常わが国では「経済協力開発機構」と訳されている。

「ORGANIZATION FOR ECONOMIC CO-OPERATION AND DEVELOPMENT」の訳であるから正しい日本語名といえるが、問題はこの経済の協力と開発を目的とした国際機構が、教育と何の関係があるのかと首をかき上げられる方も多いと思う。

OECDは、一九六一年、「自由世界の経済発展や貿易の拡大等を目的」として発足し、現在ヨーロッパのいわゆる先進国を中心に二十四カ国の加盟を得ている。我が国は一九六四年に正式に加盟し、政府代表としての大使を、OECDの本部のあるパリに常駐させている。筆者も、昨年末にOECDの教育関係の専門家会議に我が国から派遣された。このOECDが、最近、特に経済開発もさることながら、いわば「教育開発」にも、かなりの

力点をおいていることを再認識して帰国したような次第である。

OECDの本部は、フランス陸軍の栄光を象徴する凱旋門からほど遠くないアンドンレ・パスカル通りに、ロスチャイルド財閥から寄贈されたというシャトー、(Chateau) (城のような宮殿または館) に本拠をおいている。OECDの前身が第二次世界大戦で荒廃した欧州の復興のためのマーシャルプランにある点からみても、その活動がヨーロッパ諸国を中心としたものとなることは当然の勢いである。しかし、近年は、その活動の範囲が次第に拡大され、アジアにおける先進国とみなされている我が国やオーストラリア、ニュージーランド等に向けられている。

事実、最近も、OECDの教育問題担当のさる高官が、本研究所にも訪問され

たし、「カリキュラム開発の課題」と題するOECDの国際セミナーが、一九七四年、文部省の協力によって、東京で開催、我が国の教育課程研究に大きな影響を与えている。

このような教育の領域での活動のためOECDには一九六八年より「教育研究革新センター」(CERI)と一九七〇年には教育委員会(EDUCATION COMMITTEE)が恒常的に設置されている。

一口に教育の国際化といっても一足とびに簡単に実現できるものではなく、長年にわたる忍耐強い諸外国の専門家との意見交換と経験の交流が積み重ねられて初めて初めて達成される性質のものである。特に我が国のように極東の島国で、とかく孤立、閉鎖的になりがちな社会では外国人に恥ずかしがらず、対等の立場で接触できる態度、あるいは度胸を培う必要がある。

このためには、もちろん語学力(特に話す、書く能力)を身につけ、諸外国の事情、知識も大切であるが、案外に見落とされているのは、我々が日本国自身のことを意外に知らないことが障害になっていることである。日本の文化、美術や歴史について本格的な教養をもつ必要が外国について初めてわかるようなことが多い。徳川家康を初め傑出した人物の輩出している三河と愛知の郷土の歴史教育が「教育の国際化」のひとつの基礎となるといえる。

(国立特殊教育総合研究所 室長)



再 会

坂本英二

すつきり晴れあがった五月二十一日。

中学総合体育大会の日、私は、今年三月小学校を巣だつた教え子達に会える喜びにわくわくしていた。私も彼等も共に中学の一年生だ。中学校に入った喜びや新しい経験のときどきや活躍の様子は時折折れる便りで報告を受けているが、腕白坊主達の顔をしかに見る機会はまだまだない。朝、受持ちの生徒を整理させながらキョロキョロさがした。ふり向くと斜め後ろでさかんに手を振っている。とっくに気がついていたらしい。思わず手を振り近寄って行く。

「先生、中学校もうなれた。」「中学校はどう。」「元気でやってるかん。」

それはこつちのいうことだ。「自分達はどうか。」「エヘ……大丈夫……。」

その中でH君、昨年の夏休み以来、登校を拒否。三学期になって漸く登校するようになったものの通院、修学旅行の時のことなど思い出すと心配ばかりだ。ひ



ふるさとの自然

ケリ

するどい目つきで外敵を見張るケリの夫婦

ケリはチドリ科の鳥であるが、チドリの間では最も大型で、コサギやゴイサギに近しい体型をしている。地上にいる時の羽毛は、薄茶色をしているが、大空を舞う時は、羽根全体が白っぽく、先だけが黒く見える。また、胸にある三日月形をした黒色の毛でも容易にケリであることがわかる。この鳥は、かつて岡崎市が市の鳥を決めたとき、候補にあがったことのある比較的なじみの深い鳥である。のどかな春の田園のしじまを破る、するどくけたたましい声をあげ、トビなどの猛禽とはでに空中戦をしている姿を見かけたことのある人は少くないと思う。

営巣している時には、わが子を守るために攻撃的な行動をとるケリも、非繁殖期には、他のチドリの仲間と同じように敵に襲われると擬傷や擬死をする、たいへん憶病な鳥であり、周囲を見渡すことができる、広々とした水田や水辺に巣を作る。岡崎市では、矢作、六ツ美、福岡、美合などかなりの数が毎年営巣し、ひなを育てている。

巣の材料として使われるものは、主にわらやすスキなどの枯草で、皿状の粗末な巣である。ふ化したひなは、すぐに親鳥の後ろについて餌を拾い始める。ニワトリがヒヨコにするように、

親鳥がひなに合った餌をついばみ、ひなの前に落としてやるのである。だから、親が餌を運んできてひなの口に与える口うつしの行動は見られない。

ケリの食べ物、水中の昆虫や、カエルなどの小動物である。長い足で水辺にひそむ獲物を追い出し、長くくちばしをたくみに使って餌をあさる。

つゆの頃まで、各地の水田で空中戦を演じていたケリたちも、七月にはいるとはやばやと巣をたたみ、広くて安全な矢作川の河原へと集まってくる。河原では数組の家族が集まり、二十羽前後で一つの集団をつくって生活を始める。

この地方では、ケリを留鳥の仲間に行っているが、真冬になると数が減る。その頃ケリに代って渡ってくるのがタゲリである。タゲリは、ケリに比べて少し小形ではあるが、冠羽が長く、からだ全体が金属光沢をしており、ケリとは似つかず美しい色彩の鳥である。北風の吹きあれる水辺や水田の中で、ケリと同じような行動を見せる。

水田の枯れ草の間から若草が芽を吹き始める二月になると、ケリが再び姿を見せ始める。そして、南の地方からペアを組む、営巣を始めるのである。これまでの観察では、前の年と同じ水田、もしくはそこに近い地にやつてくるようである。しかし、それが前年と同一の個体であるかは不明である。

低学年のひらがな五十音単体指導では、興味と文字の意識づけが必要と思われる。そこで興味をもたせるために、小黒板や練習用紙をくふうして使わせてきました。かなり学習意欲をもち、がんばるようになって来ました。筆順を違えたり、マスの中になまなくおさまらなかつたり、いろいろな問題になやまされました。そこで、文字の意識づけに力を入れようと考えました。は、ほ、よ、な、ね、る、ぬ、の結びは——「ぶらんこで、へ」の要領で書くようにしました。その結果は、かなりの効果がありました。一ぺんで全児が反応を示しました。この調子で「ひ」を指導してみました。

「たぬきのおなか。」

大多数の児童は要領を知りうまうまできたと自負していましたが、K君

「ぼく、この字を書くとき、ぼくのおなかが出るような気がするよ。」

H君「ぼくのがての字「ひ」おなかを書くのがいて。」と……。

考えてみれば、動物園のたぬきは、こんなでつばらではないんだ。

と回りてつかい体、人一倍神経の細かい彼。「ヨオツ、元気でやつとるか。」

H君はにっこり笑ってこっくり。新卒二年目から四年間受持ち卒業させた子供達健やかに伸びていけ。

(河合中)

たぬきのおなか

神尾房江

たぬきのおなか。動物園のたぬきは、こんなでつばらではないんだ。

(黄谷小)

水練から水泳へ

山本君は全国4位 平泳ぎ

学校プール利用し成果

向上した水泳能力

水練の調査でわかる

日本水泳連盟が全国の小学校に調査した結果、山本君が全国4位の成績を挙げた。平泳ぎの調査で、山本君は全国4位の成績を挙げた。これは、山本君が小学校の水練で身につけた技術が、全国大会でも通用したことが原因と見られる。山本君は、小学校の水練で身につけた技術が、全国大会でも通用したことが原因と見られる。

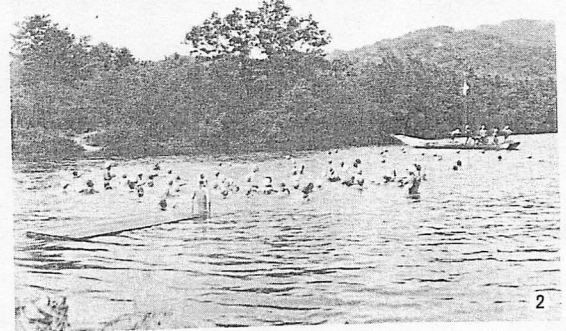
山本君は、小学校の水練で身につけた技術が、全国大会でも通用したことが原因と見られる。山本君は、小学校の水練で身につけた技術が、全国大会でも通用したことが原因と見られる。

ユメでない水泳王国の建設 全国の50傑に85人も

岡崎の学童、次は五輪へ?

岡崎市の学童水泳選手権大会の結果、全国の50傑に85人も参加した。これは、岡崎市の学童水泳選手権大会の結果、全国の50傑に85人も参加した。これは、岡崎市の学童水泳選手権大会の結果、全国の50傑に85人も参加した。

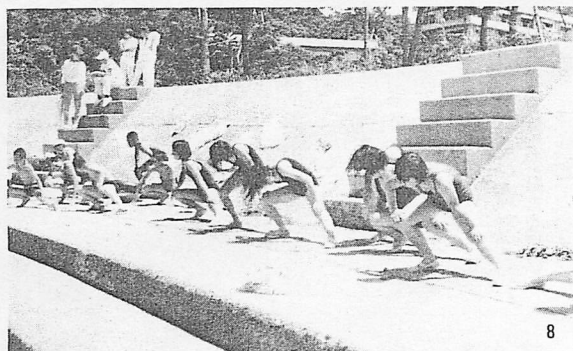
花と花器
花丹羽花店
花と花器の専門店
花と花器の専門店



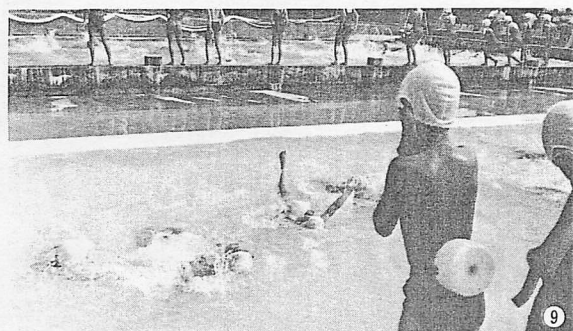
「海の民なら男なら／みんな一度はあこがれた／太平洋の荒波を」と歌われたように、戦前わが国は、「海国日本」であった。国民皆泳がモットーであった。子どもたちは、小さい頃から川や海で自由に水に親しみ、自然のうちに泳ぎをおぼえた。学校の指導は、その上立って「練成」することであった。

戦後、方向は大きく変わった。河川や海の汚れ、水難事故の責任問題等もあって、臨海学習は大幅に縮小された。いきおい各校にプールが新設され「練成」は「指導」あるいは「訓練」となった。指導法も改善され泳げない子どももどんどん減ってきている。プール使用期間はきわめて短い。今年も更に充実した指導をしたいもの。

- ① 学校プールの果たす役割も大きく、全国に名を響かせることもめずらしくなかった。
- ② 大平川に舟を浮かべての水泳指導。
- ③ 三河湾各地が海浜生活の拠点になった。
- ④ 今は懐し、水渾、シミーズの水着。
- ⑤ 戦後初めて出来た葵中学プール開き。古橋、橋爪、鈴木、浜口選手を招待して。
- ⑥ 市内でトップを切って竣工された葵中学校プールで行われた愛知県中学校水泳選手権大会
- ⑦ 着替えと共に米、ミソも持参しての海浜生活
- ⑧ プールのない学校では、現在もなお続く海浜生活。ヘルパー、ビート板等を効果的に用い、全員皆泳をめざす。
- ⑨ 小さい時から水に親しむことの少ない子供達の水泳指導に、親子プールは欠かせない。
- ⑩ 昭和五十二年度小学校水泳大会。



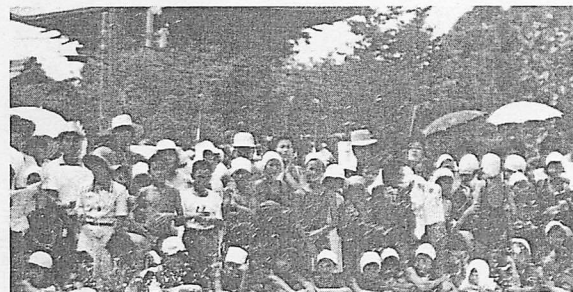
8



9



10



15



11

○ 6年間の伸び (小学校水泳大会記録より)

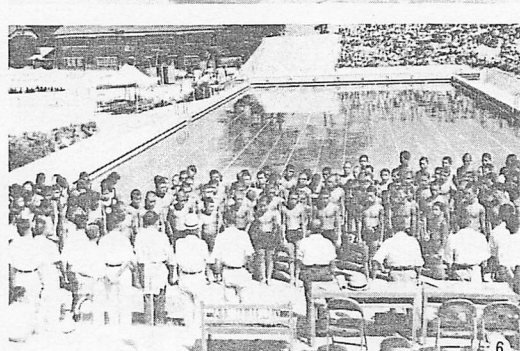
種目	学年	年次	性別		男		女	
			47年度	52年度	47年度	52年度		
50m自由	6		35" 7	32" 8	37" 0	32" 4		
50m背	6		41" 4	42" 6	42" 8	41" 0		
50m平	6		42" 1	40" 8	45" 9	44" 6		
50mバタ	6		39" 9	37" 2	42" 6	36" 0		
100m自由	6		1' 16" 8	1' 15" 2	1' 20" 8	1' 12" 5		
100m平	6		1' 38" 8	1' 26" 8	1' 45" 6	1' 34" 9		
200mR	6		2' 22" 1	2' 17" 7	2' 30" 4	2' 22" 0		

○ 県記録、市記録の比較 (中学校)

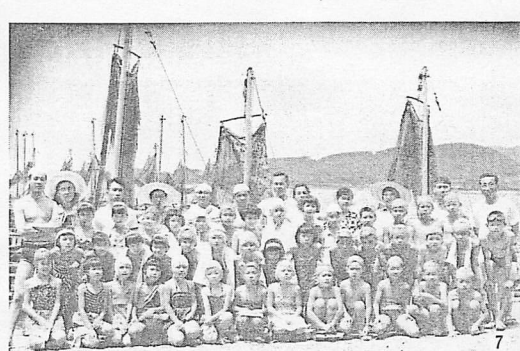
種目	年次	性別		男		女	
		52年度県記録	53・6市記録	52年度県記録	53・6市記録		
100m自		59" 0	1' 03" 9	1' 04" 3	1' 08" 2		
100m背		1' 11" 4	1' 10" 3	1' 13" 5	1' 21" 0		
100m平		1' 13" 8	1' 11" 9	1' 24" 6	1' 27" 4		
100mバタ		1' 09" 2	1' 08" 3	1' 14" 6	1' 15" 2		



5



6



7

学習する喜びを伝えて

竜海中 大山 一男

郷土読本「岡崎」の学習をすすめていたときの事である。

どんなテーマで学区の野外観察をするかの話し合いの中で、

「竜海学区で目立って変化している事や物は何か。」

「新しい家が建っていく。」

「国道二四八号線や他の道の道路工事など。」

「喫茶店や飲食店が増えている。」

と、次々に意見が出てくる。

「なるほど、そんなにも変わっていく様子を眼で確かめよう。」

と、都市開発のめざましい竜海学区」と決めた。



すると、

「六名に住んでいても知らんどううちに、店の二、三軒が建つとるもんね。」

「私も六名だけど、小学三年生ごろは、食堂がなくて東岡崎か安城の方へ食べに行つたんだよ。」

「そうそう、家のまわりに田んぼがあつたもん。」

と、日頃の経験や思い出話まで続く。

彼らの話から問題意識が高まってきたころ、用意しておいた

数枚のパネルとB紙の資料を広げた。それは上級生が歩いてま

とめた調査報告の図表である。

「学区の農地」「六名のサービス業」「国道二四八号線」「六名竜海丘のマンション」などである。

その一枚一枚に思い出があり、学習の閃きがある。

その一枚「学区の農地」は、VTR「日本の農業」の視聴によつて東北農民の働く姿から、

およそ農業に縁のない生徒たちも強烈な印象を受けたとみえ、

学区の農地と農業の実態を調べることになってきたものであ

る。土曜日の午後、カメラ、録音機を片手に聞き取り調査をす

る中で、大根抜きやさつまいも掘りまで体験した学習であつた。

「六名のサービス業」は増え

教育日々



た店を一軒一軒訪問してまとめたもので、職業への考え方も変

えさせた報告であつた。

そうした資料を見せたとき、生徒達の目が一層輝いて活発な

話し合いが続けられた。

新しい活動の指針を与えられて張り切る生徒を見ながら、上

級生の学習がこのようにして受け継がれていくすばらしさを味わつたことである。

ある出来事

矢作北小 中村あけみ

「先生、先生。おなかが痛いです。」先生、ころんでけがしちや

つた。「おしっこ出ちやつた。パンツの替えありますか。」ポ

タンとれちやつた。ズボン破れちやつた。「あのね。ちよつと

話を聞いて……………」

一度にいろんな要求の出でること、出てくること。聖徳太

子じゃあるまいし。

「ひとりずつ順番に話してちょうだい。」

短い放課ではとてもとまざばききれない毎日。

今年でついに児童数千名を越してしまい、それにつれ保健室

を訪れる児童も急増。おかげで我が城はいつも満員御礼のあり

さま。

その中である時はやさしい？看護婦さん。おかあさん役。そ

うして洋服屋さん等と、我を見失いがちな毎日を送る中で、反省

しつつも保健室を訪れる子どもたちをつい事務的に処理するこ

とが多くなってくる。

身も心もクタクタ。そんな私に予期しなかつた事が起きた。

右手甲骨の負傷。不覚だった。事もあろうに児童の健康管理、

保健指導を専門職とする我が身に起ころうとは……………」

白い包帯に包まれた右手を見るにつけ複雑な気持。そんな私の

気持ちは知らず、子どもたちは目ざとく見つけると、大きな

声で。

「手どうしたの。骨、折れたの。」

「保健の先生がけがをしたら何んにもならんじゃん。」

「先生でもけがをするの。フー

ン。」

さも不思議な事が起こつたかのような顔付きをする。

「でもよかつたね。自分で治せるもんいいじゃん。」

子どもたちは、いつも、けがや病気の処置をしてくれる保健の

先生は、絶対にけがや病気はしないものと思っっているらしい。

私とて生身の人間。けがや病

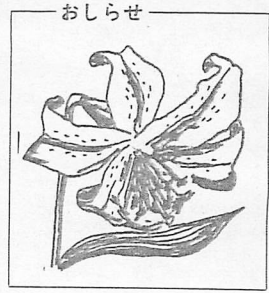
気もするのだが、子どもたちには通用しない。自分たちとは違

うウルトラ人間とでも思っているのだろうか。

千余名の児童の健康管理、指導をするには、強靱な体力と精神

力も必要だが、この小さな体験も大切にしていきたいと思つ





おしらせ

市民の「岡崎まつり」創設

1/4、1/5小学生パレード・おかざきっ子協賛

郷土芸能再見の準備を進めていた岡崎まつり選定委員会ではこのほど「岡崎まつり」創設の骨子をまとめると共に、「岡崎五万石おどり」「岡崎五万石太鼓」の制作を完成した。

市制六十二周年記念日の七月一日の記念式に続いて、午後二時から岡崎市民会館ホールで「岡崎五万石おどり」と「岡崎五万石太鼓」の発表会がもたれるほか、岡崎夏まつり（八月三日、五日）にも披露される。

本番の「岡崎まつり」は、秋たけなわの十一月四・五日の両日、全市的規模で開催されるが、小・中学校も、おかざきっ子や小・中学生によるパトーン・鼓笛・プラスチックバンド隊を編成し協賛する。

市では、今後この岡崎まつり

【寄贈刊行物・資料等】

○指導の手引第2集
教科指導員の会編
学校訪問で指導員になげかけられた教師の質問に答えた書。
A5判六〇頁
○生活の中の信仰II
佐藤三千雄編

「本当の余暇とは、人間生活が労働につきるものではないこと、人間世界が労働世界につきることのないことを知らしめるゆとりである。」
B5判五〇頁
○教育要覽 昭和52年度版・B5判四四頁 市教育委員会編

を岡崎を代表する楽しく、正しい郷土芸能理解の場に育てたいとしている。

■多年動続表彰の先生方の紹介
市内の学校に多年動続（25年以上）の教育職員として七月一日の市制記念日に表彰を受ける方々は次のとおり。

- 【小学校】▽緑丘 斎藤庄▽羽根 磯谷昭男▽岡崎 大野洋鵬▽六名 洪谷環・石原ちよ子▽三島 都築泉▽広幡 松井筆壑▽柴田 昌子▽井田 稲垣美和子▽竜谷 松崎稔▽藤川 山本宣平▽山中 今泉久▽秦梨 青山増巳▽常磐東 鈴木重則▽細川 成田美代子▽岩津 三浦孝男・柏原澄子▽矢東 高橋十四男▽矢南 杉浦英夫・山本昭▽六北 塚本百合子▽城南 安藤恒夫・本多光子

【中学校】▽城北 杉崎利兵衛大塚久雄▽福岡 小川武夫・横山茂▽東海 稲垣清春▽河合 藤井沈▽香山 鈴木健一▽岩津 中尾 劔一▽六ツ美 荻野良雄【市教委】中村 巽・太田清美

希望によって、小学校六校・中学校二校が決まった。校名、研究主題は次の通り。

- ▽岡崎小 健康で情操豊かな児童の育成（健康・音楽教育）▽本宿小 国語学習における基本的な能力の育成▽細川小 自ら調べ磨き合う学習▽矢作東小 考える子を育てる（算数を中心にして）▽六中小 よりよい価値意識を高める▽城南小 活力ある城南児童像を求め▽河合中 自ら学び・自ら汗する一一二▽香山中 香山教育の確立
- 七月の研究発表校【美合小】七月七日▽主題 読みをつくる指導▽内容 報告、公開授業、分科会、講演（東井義雄先生）

第22回岡崎市中学校総合体育大会の記録（昭和53年5月21日）

種目	会場	成績		
		優勝	2位	3位
陸上競技 男	公園グラウンド	葵	矢作	岩津
陸上競技 女	"	甲山	東海	岩津
バスケットボール 男	附属中	葵	美川	岩津・電海
バスケットボール 女	城北中	甲山	美川	附属・岩津
バレーボール 男	電海中	矢作	城北	岩津・葵
バレーボール 女	"	南	葵	福岡・矢作
軟式テニス 男	公園コート	南	香山	附属・矢作
軟式テニス 女	"	矢作	東海	甲山・香山
卓球 男	市体育館	東海	南	電海
卓球 女	"	東海	電海	六ツ美・葵
体操競技 男	電海中	葵	電海	甲山
体操競技 女	"	葵	南	電海
ハンドボール 男	葵中	葵	美川	城北・六ツ美
ハンドボール 女	"	美川	六ツ美	葵・岩津
剣道 男	南中	城北	附属	南・東海
剣道 女	"	美川	岩津	葵・矢作
柔道 男	市体育館	電海	美川	葵
軟式野球	南中・城北中	甲山	附属	岩津・城北
ソフトボール	甲山中	岩津	城北	葵・矢作
水泳競技 男	葵中	矢作	甲山	城北
水泳競技 女	"	甲山	矢作	葵

●個人成績（陸上競技）

種目(男子)	記録	氏名	校名
1年100M	13'0	浅井 富雄	葵
100M	11'9	梅田 武司	岩津
200M	23'3	荻野 竜也	葵
800M	2'10'5	柴田 真人	常磐
1・2年1500M	5'28'9	鳥居 昇	矢作
3000M	9'59'2	松本 久	甲山
100MH	14'1	石川 誠司	甲山
800R	1'40'5	葵 (長谷川・磯谷・伊藤)	葵
低学年400R	51'7	葵 (有田・浅井)	葵
走幅跳	6M25	荻野 竜也	葵
走高跳	1M65	大野 政弘	岩津
砲丸投	12M99	青山 徹	東海

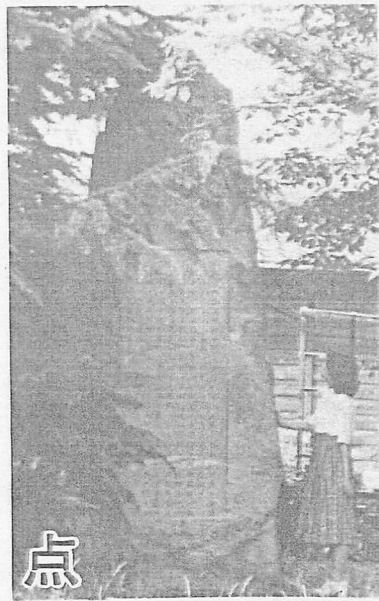
○印 新記録

種目(女子)	記録	氏名	校名
1年100M	14'0	山下多美子	岩津
100M	13'5	小森 緑	矢作
200M	28'9	山下 和江	甲山
800M	2'32'2	村瀬 智美	岩津
80MH	13'4	大塚 幸子	六ツ美
400R	54'7	矢作 (齊田・加藤)	葵
低学年400R	56'7	岩津 (前田・山下)	岩津
走幅跳	5M13	小森 緑	矢作
走高跳	1M48	清水 洋美	東海
砲丸投	11M63	大須賀倫子	東海

●体操競技

種目(男子)	氏名	校名	種目(女子)	氏名	校名
器械総合		葵	器械総合		南
団体体操		電海	団体体操		南
個人総合	嶋 儀春	葵	個人総合	平野 恵子	葵
床	嶋 儀春	葵	床	平野 恵子	葵
鉄棒	沖田 達也	甲山	平均台	平野 恵子	葵
跳箱	河内 肇	葵	跳箱	平野 恵子	葵

富国の礎の碑



所在地—岡崎市末広町

城北中・連尺小前の二四八号線は、今でも少し雨が降ると、たちまち水びたしになる。もともと、この辺から日名にかけては低湿地であり、岡多線の西の早川のような溝川でも度々堤防が決壊したという。そのため、泥水が田へ流れ込み、苦勞して育てた稲も実らず被害は甚大であった。

明治四十五年、当地浅井浅次郎氏を中心に河川の改修、耕地整理を、実に四年間もかかって

行ない、工費一万四千二百円を費した。美田二十五町歩余を得まさに富国の礎を築いたのである。

碑文にも「洵ニ聖代ノ美拳ニシテ其惠澤ノ及ブコト測リ知ルベカラズ 大正五年七月 従六位原口晃纂額愛知県郡長正七位勲六等吉川一太郎撰併書」とある。この美田も、年々埋め立てられ、今は住宅が密集して、ちがった形で先人の恩沢を受けているようである。

●カッター

緑丘小

野田 光宏

この本を

- 小説教育者一、二、 添田知道
玉川大学出版部 ¥ 1,200
- 落語と私 桂 米朝
ポプラ社 ¥ 850
- 輝ける闇 はだかの王様 開高 健
新潮社 ¥ 970
- 近代日本の心情の歴史 見田宗介
講談社 ¥ 320
- 近松物語の女たち 水上 勉
中央公論社 ¥ 980
- 遊びと日本人 多田道太郎
筑摩書房 ¥ 1,000
- わが子育て論 三好 京三
講談社 ¥ 980
- 中国の科学と日本 藪内 清
朝日新聞社 ¥ 700
- 酒縁歳時記 佐々木久子
鎌倉書房 ¥ 980
- 絵による児童画診断法 扇田博元
黎明書房 ¥ 680

岡崎市制六十二周年

月報「岡崎の教育」も遂に六十二号

二十五万都市にふさわしい青少年センター「太陽の城」をはじめ、プレハブ解消のため十七の学校で校舎が、そして五校で屋内運動場、五校でプールの建設がそれぞれ植音高く進められている。

躍進都市岡崎の姿そのままに……

思惟の本当の意味を求めて、奈良博物館の半跏像と半跏思惟像を比べて行ったり来たりしていた時出山釈迦像が強烈な光を発して目に入った。そこに誕生→思惟→苦行→下山→降魔→説法→涅槃、という文字を見つけたからである。

掃路、緑色のマークIIは涅槃?の月報委員を乗せてエンジン音が軽快であった。

シオア

アイスキャンデーの季節となる。自転車に積んだ木箱に、アイスキャンデーを入れ、旗をひらめかし、風鈴を鳴らしながら売りに来たのは昔。今は、子どもたちが、水筒に水(?)を入れ凍らせて、喉をうるおしている。子どもたちは、冷たい水が好きである。腹下りにご用心。

スイレン、カキツバタ、ハナシロウブ、アヤメ、ツツジ、アジサイ……六月の雨の中をゆっくり歩いた。忙しさにかまけて、そそくさと通りぬけた道にこんな美しい花がとびつくりした。なかでも大輪の花菖蒲の気品の高さは時間を忘れる程だ。日本の初夏の花もいろいろ。夕つづや霧に鎮もる杜若 よしお